



平成30年4月27日
緊急麻疹対策特集号
 石川県立金沢北陵高校
 保健室

「はしか」に注意！！今後の流行が心配です！

現在、沖縄県で70名以上の感染が確認され、愛知県でも8名の感染が確認されました。ゴールデン・ウィークで外出する機会が増え、全国的に流行拡大の可能性があり、とても心配な状況です。麻疹（はしか）は感染力がとても強く、症状も重症化しやすい感染症です。また、肺炎・中耳炎・脳炎などを合併することもあります。予防接種が一番有効な予防手段です。

ゴールデン・ウィークに沖縄県へ旅行の予定がある人は、沖縄県のホームページで最新の情報を確認してください。県外・県内にかかわらず、人混みに出かける際や、対外試合、遠征等はより一層の注意が必要です。まずは、母子手帳で予防接種歴をご確認ください。

【麻疹（はしか）の主な症状】

経過は長く、4期に分けられます。

潜伏期（10～12日）：感染してから症状が出るまで10～12日かかります。

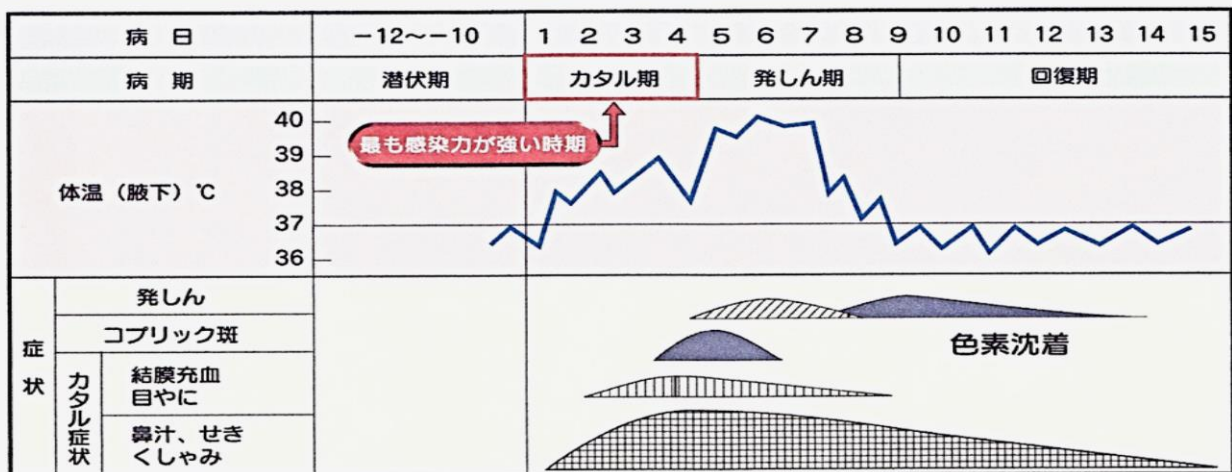
カタル期（3～4日）：咳や鼻水、38～39度台の熱が出ます。発疹がないため、風邪と区別がつかせませんが、感染力のもっとも強い時期です。

発疹期（4～5日）：カタル期の熱が下がってきたときに、再度、高熱が出ます。同時に赤い発疹が出現し、全身に広がります。咳、鼻水、目の充血、目やになどの症状も強くなります。

回復期：熱が下がり、咳、鼻水の症状も軽くなります。赤い発疹は色素沈着を残して徐々に消えます。合併症がない限り7～10日程度で回復します。

感染期間はカタル期の風邪症状が出現する1日前から解熱後3日程度です。

麻疹（はしか）の症状



藤井良知、西村忠史、中村健：小児感染症学、第1版、南山堂、東京、1985、pp.14より改変

免疫機能低下状態が数週間にわたって続く

麻疹であることに気づかずに行動



感染を広げる

「学校における麻疹対策ガイドライン」より

【せきや鼻水、高熱により、麻しん(はしか)が疑わしい時は・・・】

必ず事前に医療機関へ連絡し、その指示に従って受診してください。

受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関等の利用は避けてください。

麻疹は、インフルエンザと同様に出席停止になります。期間は「解熱した後3日を経過するまで」です。「病欠証明書」の様式は学校のホームページからもダウンロードできます。

ご不明な点やご相談等は、金沢市の保健所またはお住まいの地域の保健所にご連絡ください。

麻しんの疑いがある時、または、麻しんと診断された時は必ずすぐに学校にご連絡ください。

【麻しん(はしか)の予防接種歴・罹患状況の確認をお願いします】

生徒だけでなく、保護者の方も、予防接種歴・罹患状況の確認をお願いいたします。

全国の発生例から見ると、30～39歳と20～29歳の年代の感染が多くなっています。また、40代もかかる可能性が高いといわれていますので、保護者の方もご注意ください。麻しんの唯一の予防法は予防接種のみ(ワクチン接種)です。空気感染するので、『うがい・手洗い・マスク』では麻しんを防ぐことはできません。

*参考【金沢市にお住まいの保護者の方へ・・・】

金沢市では、2018年4月1日から2021年3月31日までの期間に『大人の麻しん風しん任意予防接種費助成』が行われます。対象は昭和43年4月1日から平成2年4月2日生まれで麻しんの既往歴がなく、麻しんの予防接種歴がない方です。詳しいことは金沢市のホームページでご確認ください。

◎平成2年4月2日以降に生まれた方は、麻しんの予防接種を2回受ける機会があったため、感染の可能性は低くなりますが、母子手帳で予防接種を2回受けているかご確認ください。

持病やアレルギー等で予防接種が受けられなかった生徒は特に注意が必要です。主治医の先生にご相談ください。

◎平成2年4月1日以前に生まれた方は、幼児期に1回予防接種を受けてから相当の年月が経過しているため、感染防御のための十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします。

麻しんワクチンを1回のみ接種している場合、典型的ではない症状を呈することがあります。(修飾麻しん)風邪と誤っていても実際には麻しんの可能性があり、他の人に感染する可能性があるため注意が必要です。



5月1日は遠足の予定です。当日の天気と気温によっては、熱中症や脱水も心配な季節になってきました。遠足では、こまめに水分摂取をするよう心がけましょう。寒くなったり急に暑くなったり、体温の調整が難しい時期です。1年生は特に新しい環境で疲れもたまってきている時です。体調も崩しやすいので、連休中も休めるときはゆっくりしっかり休んでくださいね。

